

過去の研修情報(高次脳機能障害支援研修会)

H19年度(2007年度)高次脳機能障害支援研修会

		場所	参加者
高次脳機能障害支援医療関係者研修会	特別講演「高次脳機能障害の診断と治療プログラム」 国立身体障害者リハビリテーションセンター 学院長 中島 八十一先生 報告「京都府における高次脳機能障害支援普及事業の取組」 京都府リハビリテーション支援センター 武澤 信夫 「高次脳機能障害と家族の現状」 患者家族会	京都府立医科大学 附属図書館ホール	137名
高次脳機能障害支援行政・福祉関係者等研修会	特別講演「家族支援及び相談支援の実際」 神奈川県リハビリテーション病院医療福祉総合相談室 室長 生方 克之先生 「高次脳機能障害と京都府の取組みについて」 京都府リハビリテーション支援センター 武澤 信夫	京都府立医科大学 附属図書館ホール	192名
高次脳機能障害支援第2回医療関係者研修会	特別講演「高次脳機能障害に望まれる支援とは 関わり、リハビリの経験を通して」 神戸大学医学部保健学科作業療法学専攻 教授 種村留美先生 講演:「脳損傷当事者から社会につながるための新たな視座を求めて 関係発達論からみた当事者の回復・家族の回復」 ピアサポートプログラム研究会・京都民医連中央病院 中塚圭子先生	京都府立医科大学 附属図書館ホール	140名